

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

市町村長

市町村名 (市町村コード)	朝来市 ( 282251 )	
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市山東町矢名瀬地域 ( 金浦区 )	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年9月1日 (第5回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

現在の地区内耕作者数は、6軒(区全体の約23%)であるが、5年後10年後には後継者がいても農業に従事する割合は、殆ど変わらないと予測出来る。  
 耕作環境が極めて悪く、区全域に獣害防止柵を設置しているため維持管理が容易でない。また、給水は溜池に依存し、農業用水路の経年劣化が著しいものとなっている。  
 通称金浦川の河川昇格が待たれる。  
 今後、後継者不足と耕作放棄地の増加が顕著で農業の先行きに大きな不安を抱えている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

農業従事者とその後継者を中心に今後の農業の推進について論議し、加えて多面的機能支援事業や中山間地域等直接支払制度の関係者ともしっかり話し合いを重ねていく必要がある。  
 今のままでは「労多くして益なし」である。市や農林振興課の支援、農業経営者や認定農業者等との連携や、外部人材も視野に入れながら多方面から今後の在り方にアプローチしていきたい。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	8.81 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	8.09 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

夜久野高原の畑地区域を地域計画の区域から除く。(夜久野高原一帯で地域計画策定が見込まれるため)区域を国道9号から南とする金浦区内の農用地一帯とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
耕作者減少のなかで農地所有者の意見や要望を聴取し、担い手を中心としながら集積・集約化を図っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構が農地の貸し借りを仲介する農地バンク制度であることの周知を行い、長所短所を踏まえて資料配付や説明等を行う。
(3)基盤整備事業への取組方針
農道や水路、獣害防止柵の老朽化による修繕や山裾樹木伐採を検討する必要がある。 通称金浦川の河川認定に注力したい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
多面的機能支払制度や中山間直接支払事業の推進を核としながら、区内農業者及び区民の協力体制強化を図る。 持続可能な農業の在り方について、行政関係機関、JA、認定農業者、地区の世代交代層や農業熟達経験者等の助言や協力を得ながらアプローチを試みていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
後継者を含む担い手が極少という実態がある。支援の方策、収益性の高い農産物の栽培、農業支援サービスの導入等のバックアップ体制をいかに構築していくかが肝要である。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

⑩農業に携わる上で「人なくして事なさず」「労に見合う益あり」は条件である。農業従事者と協力者の拡大、支援体制確立に区を挙げて英知を結集する。